



おんぶで100kmリレー

357組714人がリレーでギネス世界記録®を達成



プラス・ジャンボリー® in 厚木

322人が力を合わせて大合奏



たすきをつないで全参加者が完走

60km・6kmリレーマラソン

みんなで祝った60周年



マラソン野球・ソフトボール大会

60イニングの熱戦を展開

昨年の2月1日に60回目の誕生日を迎えた厚木市。この大きな節目を盛大にお祝いしようと、市民の皆さんから頂いたアイデアを基にさまざまな記念事業を展開してきました。市制記念日の前後1年間で実施した特別イベントは12。参加者は1万2千人に上り、会場には子どもから大人までたくさんの笑顔が花開いていました。記念事業実行委員会の小瀬村泰久委員長(72・温水)は「参加者同士が触れ合いながら、市民協働で実施できたことを誇りに思う」と振り返ります。

誰もが厚木を愛し誇れるまちとするため、市では「あつぎ市民ふれあい都市」を昨年の市制記念日に宣言しました。記念事業を通じて深めた人と人とのつながりを宝に、希望に満ちた未来に向かって歩いていきたいと思います。

企画画政策課 ☎225-2450

あつぎ市民ふれあい都市宣言

厚木市は、先人のたゆまぬ努力により、自然と調和する都市として発展してきました。そして今、少子高齢化の進展や価値観の多様化により、人と人との関係が変化し、市民相互の絆がより大切になっています。

私たち一人一人が地域に関心を持ち、日頃から助け合い、市民協働により、身近な課題に取り組むことで、笑顔で暮らせる安心・安全なまちをつくることができます。

家庭や地域で思いやりの心を育み、ふるさと厚木を世代を超えて愛し、誇れるまちとするため、ここに「市民ふれあい都市」を宣言します。

◆ふれあいの家庭づくり

家族との絆を深め、人を思いやる豊かな心を育み、ぬくもりのある「心ふれあう家庭」をつくりましょう。



昨年の記念式典で宣言

◆ふれあいの地域づくり

地域に暮らし、働き、学ぶ中で、地域活動の輪を広げ、みんなで支え合う「心ふれあう地域」をつくりましょう。

◆ふれあいのまちづくり

人とのつながりの輪を広げ、希望に満ちた、未来に輝く「心ふれあうまち厚木」をつくりましょう。



大相撲厚木場所

17年ぶりに厚木市で開催された大相撲



趣向を凝らした最新メディアアートが競演



ブレイブボードでギネス世界記録®に挑戦

小鮎中の生徒らが記録を達成

目次	2面 人口ビジョン・総合戦略を立案 市では、人口減少に歯止めをかけ活力あるまちの礎を築くため、人口ビジョンと総合戦略を立案しました。	3面 市民満足度・意識調査の結果まとまる 市民の皆さんの声をまちづくりに反映するために実施している、二つの調査の結果を紹介します。	4・5面 学ぶ幸せ、知る喜び 自主夜間中学「あつぎえんぴつの会」と、3課程で学びを支える厚木清南高校に通う生徒を紹介します。	6・7面 タウンガイド 催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。
	こちらから			

将来の人口減少に歯止めをかけるために 人口ビジョン・総合戦略を立案

トピック
人口対策

市では、平成27年までの人口展望を示した「人口ビジョン」案と、目標人口の実現に向けた施策を定める「まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、総合戦略）」案を作成しました。市民の皆さんの意見を伺いながら策定を進め、地域の実情に合わせた取り組みを展開していきます。

【人口ビジョン】

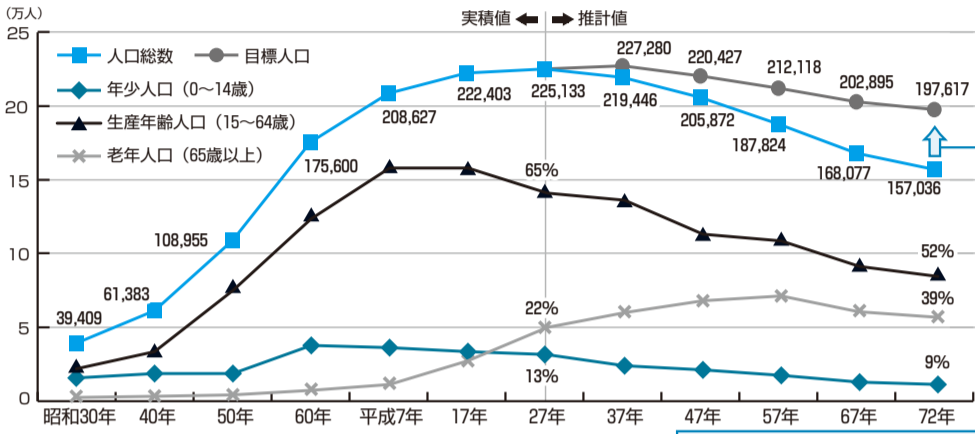
目標人口 19万7千人（平成72年）

■合計特殊出生率

段階的に上昇させ、57年以降は人口が増加も減少もしない均衡した水準となる2.07を目指す。

■20歳代の定住促進・転出抑制

最も多い20歳代の転出を抑制し、42年以降は転出超過ゼロを目指す。



①合計特殊出生率の上昇②20歳代の定住促進・転出抑制により人口減少を抑制する

【総合戦略】

目標値

【現状値】 【31年度の目標値】

■合計特殊出生率 1.28 ⇒ 1.42

■定住促進

(20歳代の社会増減数) -187人 ⇒ -90人

■雇用の創出

事業所数 1万610事業所 ⇒ 1万1100事業所

就業者数 15万2191人 ⇒ 15万9800人

基本目標・具体的な施策

基本目標1 若い世代の結婚・出産・子育てへの希望と未来を担う子どもたちの夢をかなえる

《具体的な施策》

出会いや交流の場の創出、妊娠・出産への支援の充実、魅力ある教育プログラムの推進など

基本目標2 住みたい、働きたい、訪れたいと思える魅力あるまちを創出し、全国に発信することにより新たな人の流れをつくる

《具体的な施策》

中心市街地の都市機能の充実と商業の活性化、厚木の魅力の発信力強化、定住促進への支援の充実など

基本目標3 市民が生きがいを感じ、健康で安心して暮らせるまちづくりを推進する

《具体的な施策》

健康の保持増進、災害対応力・消防力の強化、市民生活の安心・安全の向上など

基本目標4 人口減少による将来への影響を見据えた自主・自立のまちづくりを推進する

《具体的な施策》

市民協働のさらなる推進、公共施設の適正配置の推進、都市間連携の推進など

基本目標5 働く場をつくることにより、定住者を増やし経済活動を盛んにする

《具体的な施策》

新たな産業拠点の創出、企業誘致の推進、企業活動の活性化へ向けた支援の充実など

人口の現状を分析

急速な少子高齢化が進む日本は、平成20年から人口減少時代に突入しています。この課題に国を挙げて取り組むことを定めた「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、市では人口ビジョンと総合戦略の策定を進めています。

現在の市の人口は約22万5千人。微増傾向にありますが、増加率は縮小しています。特に65歳以上の老年人口の増加が目立ち、人口の2割を超えています（左表参照）。合計特殊出生率（一人の女性が生涯で生む子どもの平均値）は、25年で1・28。直近10年では最も高いものの、全国（1・43）より低く県と同率です。転入・転出数では、20歳代の転出が最も多くなっています。理由としては、就職や仕事の都合、結婚などが挙げられます。

72年の人口を19万7千人に

近年の自然増減（出産・死亡）や社会増減（転入・転出）から推計すると、人口は72年に15万7千人に減少することが見込まれています。急速な少子高齢化・人口減少に対応するため、人口ビジョン案では、合計特殊出生率の上昇と20歳代の定住促進・転出抑制に取り組むことで、72年に19万7千人を維持する目標を掲げました（左上欄参照）。

数値目標を設け施策を展開

総合戦略では達成指標として、合計特殊出生率の上昇、定住促進、雇用の創出を設定。それぞれに5年の計画期間が終わる31年度時点での数値目標を設けました（左欄参照）。

達成指標の実現に向け、五つの基本目標や具体的な施策を定めました。特に、転出数が最も多い20歳代の定住促進と転出抑制を重点項目に位置付けています。

活力あるまちの礎を築く

策定に当たり、公募の市民や有識者など17人で組織する「まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」から提言を受

ひとまち元気



厚木市長 小林 常良

平成28年のテーマは「先見」

先見：将来をあらかじめ見抜くこと。私が、平成28年の市政運営テーマとして選んだ言葉です。毎年、みんなの思いを共有し、1年間の仕事をぶれることなく進めるために決めています。「創造」から始まり、「真価」「一意

専心」「原点」「総力」「情熱」「光輝」と続け、一つ一つの言葉を線としてつなげていく市政運営に努めてきました。厚木市は1年前、市制60周年を迎えました。先人の方々が汗水流して築き上げたこのまちを、もっと大きく元気にしたい。少子高齢・人口減少社会を迎えた現代、この思いを実現させるためには「右肩上がり」の考えはもはや通用しません。目先のことに惑わされず、将来を見据えた中で本質を見極めていく力が求められています。市内では今後、四つのインターチェンジが新設され、中心市街地の再開発や整備も進んでいきます。まだまだこのまちは、大きな可能性を秘めています。大好きなふるさとを、どこにも負けない誇るべきまちとしていくため、市民の皆さんと共に先見の明のあるまちづくりをまい進していきたいと思っています。

けました。委員長を務めた松蔭大学教授の安達和年さん（58）は「少子高齢化の進展は厳しい財政状況を招き、市民サービスの低下させる恐れがある。多くの市民の声を参考に、実効性のあ

るまちの礎を築いていきます。市では、市民の皆さんの意見を伺いながら、3月末までに人口ビジョンと総合戦略を策定。地域の実情に合わせた取り組みで、将来にわたって活力あるまちの礎を築いていきます。

企画政策課 ☎225-12455

皆さんの意見を募集します

■パブリックコメント（意見募集）

《閲覧場所》企画政策課や公民館、市ホームページなど《応募方法》2月12日までに「わたしの提案」箱に投函するか、直接または郵送、ファクス、Eメールで〒243-8511企画政策課 ☎225-3732・e-mail=1100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

■説明会

2月6日（土）、10時～11時。市役所本庁舎4階大会議室。無料。☎当日直接会場へ。



市民満足度調査

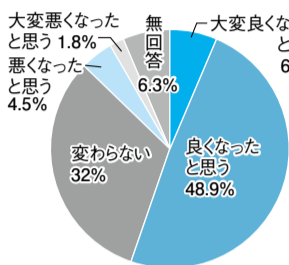
(表1) 調査結果から見た優先的に取り組むべき項目

- 子育て環境の充実
- 高齢者の生活環境づくり
- 中心市街地の活性化
- 快適な生活環境の整備
- 交通環境の整備

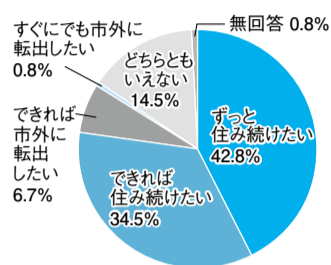


市民意識調査

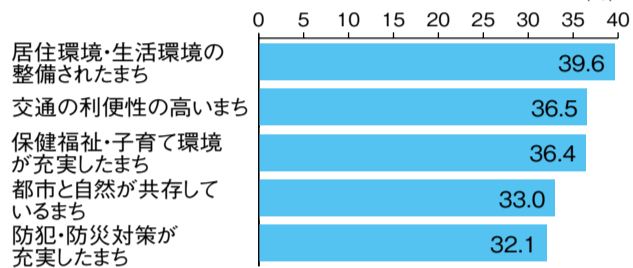
(表2) 駅前の治安



(表3) 定住意向



(表4) 望む将来の都市像



トピック 市民ニーズ

皆さんの声をまちづくり

市民満足度・意識調査の結果まとまる

市民の皆さんの意見を的確に把握し今後の市政に生かすため、市では二つの調査を定期的に実施しています。施策の達成度を検証する市民満足度調査と、まちづくりに対する考え方を把握する市民意識調査の結果をご紹介します。

市民満足度調査

市民満足度調査は、市の総合計画「あつぎ元気プラン」の達成度を評価するため、毎年実施しています。調査内容には、市が取り組む施策や事業に関する7分野37項目を設定し、それぞれの満足度と重要度を調査。市の取り組み全体の満足度を表す「総合満足度」についても調べました。

調査は、市内在住の18歳以上の方3500人を対象に実施し、1388人

総合満足度は7割が高評価

総合満足度では「満足」「やや満足」の合計が71・6%でした。特に20代、30代の若者世代、中学生以下の子どものいる世帯の満足度が高くなっています。「子育て・教育環境日本一」を指し、若者や子育て世帯に寄り添って展開する施策が評価された結果と考えられます。

項目別では、半数以上の23項目で前年より「満足」「やや満足」と回答し

の方が回答を頂きました。

優先すべき施策を検証

調査の結果から、今後優先的に取り組むべき施策を検証しました。重要度が高く、満足度をさらに高める必要がある「子育て環境の充実」「高齢者の生活環境づくり」などの5項目(表1参照)は、今後重点的に取り組み、皆さんの満足度向上につなげていきます。

分析・検証した結果は、将来のまちづくりやあつぎ元気プランの推進に活用します。今後も誰もが笑顔で暮らせるまちを目指し、皆さんの声を聴きながらさまざまな施策を展開していきます。

企画政策課 ☎25-2455

市民意識調査

市民意識調査は、市民の皆さんの意見をまちづくりに生かそうと、2年に1回実施しています。安心・安全、教育、防災など、生活に関わりの深い65項目を調査。市内在住の18歳以上の方2916人から回答を頂きました。

駅周辺の治安が向上

今回、大幅に向上したのが、本厚木

2月1日 欲しい情報がより探しやすい 市ホームページをリニューアル

「使いやすさ」と「見やすさ」を向上させるため、市のホームページをリニューアルしました。

～さらに使いやすく～

- ◆トップページをシンプルなメニュー構成に。検索のしやすさに配慮しながら、デザインを一新しました。
- ◆文字拡大、外国語翻訳、音声読み上げ機能など、利用者をサポートする機能を充実させました。



～さらに見やすく～

- ◆パソコン版や携帯電話版に加え、スマートフォンにも対応しました。
- ◆公開する情報を見直し、内容を整理したほか、ボタンの押しやすさなどにも配慮しました。

情報政策課 ☎25-2459



調査結果の詳細はこちら

「市民満足度調査報告書」と「市民意識調査報告書」は、市役所1階市政情報コーナーや中央図書館、各公民館などでご覧になれるほか、市ホームページでも公開しています。

意識調査報告書は、市政情報コーナーで販売(1部450円)もしています。

駅周辺の治安に関する項目です。「大変良くなった」「良くなった」が前回より23・1ポイント増加し、「悪くなった」「大変悪くなった」が18・0ポイント減少(表2参照)。平成26年の「客引き行為等防止条例」の施行による、駅前のスカウト・客引き行為の減少が大きな要因として考えられます。

定住意向についての質問では、「ずっと住み続けたい」「できれば住み続けたい」と回答した方が77・3%(表3参照)に達し、前回から5・2ポイント増加しました。「家がある」以外の主な理由は「愛着がある」「自然環境が良い」などでした。一方、「転出したい」「できれば転出したい」と答えた方は7・5%。主な理由は「交通の便が悪い」「買い物に不便」ですが、前回の調査から1・4ポイント減少しました。

便利で生活しやすいまちに

「将来どんなまちになってほしいか」という質問に対しては「居住環境・生

活環境の整備されたまち」「交通の利便性の高いまち」などの回答が多数を占め、暮らしやすさに重点を置いたまちづくりを望む声が多く寄せられました(表4参照)。

調査結果は担当部署が分析し、施策展開の資料として活用します。今後も市民の皆さんのニーズを的確に捉え、誰もが住み続けたいと感じられるまちづくりを進めていきます。

広報戦略課 ☎25-2043



仲間と共に学びを楽しむ渡部さん(右)。学習の時間は和やかに進む



会の方針や今後の展開も皆で話し合っている



会の代表を務める岩井さん

「この漢字は何と読みますか」「どちらの数字が大きいと思いますか」。あつぎ市民交流プラザの一室で、漢字の書き取りや分数、図形、英語など、さまざまな授業が展開されています。教材に真剣なまなざしを注ぐのは「あつぎえんぴつの会」の皆さん。戦争や病氣、家庭環境などの事情で小中学校の勉強ができなかった方に学び直しの場を提供しようと、ボランティアスタッフが月2回運営する自主夜間中学です。

学べなかつた悔しさ
一人目の生徒となったのは、渡部フサ子さん(82・森の里)です。渡部さんは富山県で暮らしていた小学6年生の8月、太平洋戦争で大きな空襲に遭い、家と学校を失いました。その後すぐに父親も亡くし、小学校を卒業できなまま、生活のために働く毎日となりました。

結婚し、仕事と子育ての両立に多忙な毎日を送りながらも、勉強したいという気持ちで捨て切れなかつた渡部さん。「子どものテストを見ても、教えてあげられないのがつらかつた。ちゃんと基礎から学び直したかつた」と当時の悔しさを振り返ります。これまで都内などいくつもの夜間中学を見学してきましたが、入学条件や距離が壁となり、通学には至りませんでした。

あつぎえんぴつの会



「知りたい、分かってほしい、学びたい」。学びは、人生をより豊かにし、日常に彩りを与えてくれます。今回の特集では、年を重ねても、社会に出ていても、学ぶことを追求める人、その熱意を支える人を紹介します。

学ぶ幸せ、知る喜び



県立厚木清南高等学校



県内で唯一、全日制に加え定時制、通信制の3課程を兼ね備える「フレキシブルスクール」厚木清南高校。10歳代から60歳代までの生徒が在籍し、一人一人が自分のライフスタイルに合わせた形で学習を進めています。通信制や定時制の生徒たちは、日中は仕事などに打ち込みながら、それぞれの目的のために学びを深めています。

資格取得のために

通信制課程で学び2年になる梶原悟さん(41・相模原市)は、6年前から知的障害者施設で事務の仕事をしています。経験を積むうちに「より入所者に関われる仕事がいい」と思うようになった梶原さん。福祉の資格取得のための基礎学力を身に付けようと清南高校への入学を決意し、自学自習が基本となる通信制を選びました。



夜のグラウンドでキャッチボールをする神尾町さん

やり遂げるものが欲しい

定時制課程に通う神尾町力也さん(18・秦野市)も、3月に卒業を予定している生徒の一人です。神尾町さんは中学2年の時、打ち込んでいた野球でけがを負ってしまったショックから、学校を休みがちになりました。それでも、高校野球への思いを諦め切れず、この学校に入学しました。

学びの広い受け皿
公立の夜間中学は県内に2校と少なく、渡部さんのように長い間学びの場を求めている方がいるのも現状です。「行く前は会の体制が充実させ、学びたいけど学べなかつた人たちの広い受け皿にできたら」と岩井さんは願っています。「いつか高校卒業の資格を取りたいけど、体力的にどうかしら」と話す渡部さんに「一緒にがんばりましょう」とほほ笑む岩井さん。会には、学びを通して生き生きと輝く、たくさんの方々があふれています。

自分らしく勉強を

40歳を目前にしての再チャレンジを、職場の仲間たちは温かく受け入れ、背中を押してくれました。梶原さんは計画的にスケジュールを組み、仕事と勉強を両立。地道な努力が実を結び、3月には晴れて卒業を予定しています。「同じ年齢の方と比べるとだいぶ遅れてしまったが、幅広い世代の知り合いができたことや、先生の授業を受けたり、貴重な経験ができた。自分らしくやってくることができたと思う」と在学生活を笑顔で振り返る梶原さん。



職場で同僚と談笑する梶原さん

日中は住宅などの基礎工事を請け負う職人として働き、夕方からは授業を受ける日々。体力的につらい時もありましたが、大好きな野球への思いで、何かをやり遂げたいという信念が神尾町さんを支えました。仲間を引っ掛けて定時制課程には無かつた野球部をつくり、授業が終わる21時からの練習に励みました。授業では、スポーツ理論など、清南高校特有の科目を選び、好きなことを学ぶ楽しさを知りました。「今までいろんなことが中途半端に終わってしまった分、分るらしい。協力してくれた職場や家族にも感謝している」と卒業を目前に充実した表情を浮かべます。

「あつぎえんぴつの会」では、一緒に学び直したい方や、スタッフを募集しています。
岩井代表
0400-222000-0000

あつぎ 元気Wave
CATV 2/16~放送

みんなの「学びたい」を支援 市の生涯学習事業



あつぎ協働大学 市内にキャンパスを置く五つの大学と市が連携して講座を運営。各大学や企業による特色を生かした個性ある講義が人気です。
輝き厚木塾 音楽、ダンス、語学など、多様な分野で市民の皆さんが講師となり開催する講座です。前期と後期に分けて実施しています。
いずれも3月15日発行の広報あつぎ特別号で平成28年度の開催予定をお知らせします。
圏文化生涯学習課 ☎225-2512

放送大学4月生を募集

テレビやインターネットで授業を受ける通信制大学の入学生を募集します。心理学・福祉・経済・歴史・文学など、幅広い分野を学べます。出願期間は第1回が2月29日、第2回が3月20日まで。資料請求は無料です。
圏放送大学神奈川学習センター ☎045-710-1910



タウンガイド

2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	6	7	8	9	10	11	12
7	8	9	10	11	12	13	13	14	15	16	17	18	19
14	15	16	17	18	19	20	20	21	22	23	24	25	26
21	22	23	24	25	26	27	27	28	29	30	31		
28	29												

マイタウンクラブ
 ①印の番号で、ウェブ上から詳しい情報をご覧になれます。「①印」と記されたものは、申し込みもできます。
www.mytownclub.com

Gポイント
 G印は、あゆこちゃんGENKIポイント「Gポイント」の対象事業です。数字分のポイントが付与されます。

あつぎ青春劇場

①2月6日、15時～16時。唄う！青春劇場カラオケ大会（ゲスト・井上まり子）②2月27日、11時～12時30分。あつぎ青春劇場落語会（出演・落語=立川志菴、津軽三味線=三浦見）。いずれも会場はアミューあつぎ9階。定員100人。500円。④当日直接会場へ。⑤商業にぎわい課 ☎225-2840。先着順。①のみ ⑥

植物スライド映写会

2月13日、13時30分～15時。あつぎ市民交流プラザ。厚木周辺の植物や花などの写真紹介と解説。定員100人。無料。④当日直接会場へ。⑤郷土資料館 ☎225-2515。先着順。① ⑥

大山道・戸田の渡しから伊勢原を訪ねて

2月27日、9時30分～13時（雨天中止）。中戸田バス停集合。中戸田バス停～戸田の渡し～上落合～下槽谷～伊勢原駅までの約5キロを歩く。

定員60人。500円（資料代、保険料）。飲み物をお持ちください。④2月1日から東丹沢七沢観光案内所 ☎248-1102へ。先着順。① ⑥

バウンドテニス選手権大会

2月28日、10時～（受け付けは9時～）。荻野運動公園（中荻野1500）。男子、女子、フリー、シニアの各シングル・ダブルス戦。市内在住在勤在学の方。1種目1000円（体験コースあり）。④任意の用紙に〒住所、氏名、電話番号、参加種目を書き、2月15日（必着）までに郵送またはファクスで〒243-0023戸田1449-11市バウンドテニス協会・川井 ☎・ ☎228-7360へ。

ひとり親家庭対象・工場見学といちご狩りバスツアー

3月5日、8時30分～。本厚木駅南口集合。ヤクルト裾野工場（静岡県）。18歳未満の子どもを持つひとり親家庭の方45人。1500円（4歳～未就学児800円。3歳以下無料）。④参加者全員の〒住所、氏名、年齢、連絡先を2月20日までに電

話またはファクスで市母子福祉連絡協議会・伊藤 ☎・ ☎222-7485・ ☎090-3696-1566へ。抽選。

あつぎまるごと満喫モニターツアー

3月5日、8時15分～17時30分。本厚木駅南口集合。イチゴ狩りと飯山温泉「ふるさとの宿」で食事・入浴・鑑賞イベントなど。定員30人。3000円（小学生以下1500円）。④2月18日までに電話で東丹沢七沢観光案内所 ☎248-1102へ。抽選。

応急手当普及員再講習会

2月20日、9時～12時。陸合分署（三田1475-1）。応急手当普及員の有効期限更新と技能の維持・向上のための講習会。市内在住在勤在学で有効期限3年以内の応急手当普及員30人。無料。④2月9日までに救急救命課 ☎223-9365へ。抽選。① ⑥

市史歴史講演会

2月21日、14時30分～16時30分。あつぎ市民交流プラザ。「揺れる大地、怒る富士一元禄大地震と宝永富士山噴火」をテーマに東海大学教育研究所教授が講演。定員100人。無料。④当日直接会場へ。⑤文化財保護課 ☎225-2060。先着順。① ⑥

斎場施設見学会

2月15日、①10時30分～②13時30分～。斎場（下古沢548）。施設の見学と葬儀の説明。定員各回30人。無料。④2月1日から市斎場 ☎281-8595へ。先着順。⑥

厚木産の鉢花を使ったフラワーアレンジ教室

3月16日、13時～15時。あつぎ市民交流プラザ。定員40人。1500円。④往復ハガキに教室名、〒住所、氏名（ふりがな）、電話番号を書き、2月25日（必着）までに〒243-8511農業政策課 ☎225-2801へ。抽選。① ⑥

子育てアドバイザー講習会

3月14・16日（全2回）、10時15分～17時。あつぎ市民交流プラザ。市内

在住で、地域の子育て支援にボランティアとして関わりたい方20人。無料。託児あり（1歳以上10人。2月29日までに電話で予約。先着順）。保育所実習（半日）が必要。全課程修了者に認定証を交付。④3月4日までに子育て支援センター ☎225-2922へ。抽選。① ⑥

育児講座「2人目、3人目…妊娠中からのわくわく子育て」

3月5日、10時～11時30分。あつぎ市民交流プラザ。臨床心理士による講義。市内在住で2人目以降の子どもを妊娠中の方40人。無料。託児あり（先着20人。要予約）。④2月1日から健康づくり課 ☎225-2597へ。先着順。① ⑥

キッズ★コーディネーショントレーニング

3月20日、①9時～10時②11時～12時。南毛利スポーツセンター（温水西1-27-1）。運動神経を高める体験運動教室。市内在住の未就学児 ①3～4歳20人 ②5～6歳30人。500円。④ハガキ、ファクスまたはEメールに講座名、〒住所、保護者・参加者氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を書き、2月15日（必着）までに〒243-0039温水西1-27-1市体育協会 ☎247-7212・ ☎248-7151・ e-mail=info@atsugi-taikyo.or.jpへ。抽選。

ラテアート教室

3月12日、13時～15時。バー「サンフェイス」（中町1-8-4）。コーヒーにミルクで絵を描く。市内在住在勤在学の方10人。3200円。④電話またはファクスに〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、2月15日までに勤労者福祉サービスセンター ☎206-4151・ ☎206-4611へ。抽選。

市職員を募集

《職種》特定任期付職員（弁護士）《採用人数》1人《受験資格》弁護士の資格を有し、2年程度以上の弁護士実務経験がある方《任用期間》4月1日～平成30年3月31日。④市役所本庁舎案内と職員課で配

観光スポットを巡って特産品をゲット

ぐるっと丹沢・大山×宮ヶ瀬スタンプラリー

無料

厚木市・秦野市・伊勢原市・愛川町・清川村の観光ポイントを巡るスタンプラリーです。

《期間》2月1日～3月16日

《参加方法》各市町村の観光案内所などにある台紙にスタンプを押し、全て集まったら各観光案内所へ。

《参加特典》ご当地キャラクターオリジナルグッズ（先着1000人）、食事券や特産品など（抽選170人）。

☎観光振興課 ☎225-2464

心に残る特別なひな祭りを楽しもう

古民家岸邸の雛まつり

市の指定文化財である古民家岸邸（上荻野792-2）に、ことしも豪華絢爛なひな人形が並びます。歴史ある古民家で、日本の伝統を楽しみましょう。

① 152618

期間 2月17日～3月13日 10時～15時

- ・2月20日、3月6・13日は、抹茶サービスあり。
- ・2月20日、10時～14時に「民話のお話会」を開催。

休館日 月・火曜

入館料 無料

古民家に並ぶひな人形

☎郷土資料館 ☎225-2515

無料

県央地域若者サポートステーション

面接対策や面談など、一人一人に合った就職活動を支援します。

《開所日時》月～金曜 10時～17時 ※土曜も月1回開所

《場所》あつぎ市民交流プラザ

《対象》15～39歳の方とその家族

☎電話で県央地域若者サポートステーション ☎297-3067へ。要予約。

布している申込書（市ホームページからもダウンロード可）に必要事項を書き、直接、郵送またはEメールで2月10日（必着）までに〒243-8511職員課☎225-2070・e-mail=0500@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

小学校給食配膳員登録者を募集
《勤務場所》市内6校（玉川・相川・戸室・愛甲・森の里・戸田）
《賃金》912円《勤務時間》10時～15時までの間の4時間《採用時期》欠員が生じた都度。☎市販の履歴書に必要事項を書き、直接または郵送で〒243-0034船子602-7南部学校給食センター☎225-2652へ。

青少年教育相談センター運営協議会委員を募集
青少年教育相談センターの運営について審議する委員を募集します。
《対象》①市内在住で応募日現在満18歳以上②平日昼間の会議（年2回程度）に出席できる③他の付属機関の委員でない④市の議員・職員でない⑤の全てを満たす方2人《任期》6月1日から2年間《報酬》1回7800円（交通費含む）。☎公民館などにある申込書（市ホームページからダウンロード可）に必要事項と応募動機（400字程度）を書き、直接または郵送、ファクスで2月19日（必着）までに〒243-8511青少年教育相談センター☎225-2520・FAX223-9525へ。後日面接あり。☎公募352020

市史編さん委員を募集
市史編さん事業について審議する委員を募集します。
《対象》①市内在住に勤在学の18歳以上②平日昼間の会議に出席できる（年1回程度）③他の付属機関の委員でない④市の職員や議員でない⑤市史編さん委員に任命されたことがない⑥の全てを満たす方2人《任期》6月1日から3年間《報酬》1回7800円（交通費含む）。☎文化財保護課にある申込書（市ホームページからダウンロード可）に必要事項と応募動機（400字程度）を書き、直接または郵送、ファクス、Eメールで2月24日（必着）までに〒243-

8511文化財保護課☎225-2060・FAX223-0086・e-mail=8650@city.atsugi.kanagawa.jpへ。選考あり。

経済センサスー活動調査の統計調査員を募集
市内の事業所や企業の経済状況を調べる調査員を募集します。
《期間》5月上旬～6月下旬（実働15日程度）《内容》調査票の配布・回収、内容検査など《対象》①責任をもって調査ができる②秘密を厳守できる③税務・警察・選挙の業務に直接関係がない④の全てを満たす20歳以上の方60人程度《報酬》約5万円（調査数による）。☎3月4日までに直接、行政経営課☎225-2180へ。

子育て支援センター保育士（臨時職員）を募集
《内容》子育て支援センター（子育てサロンの運営、育児相談、訪問業務など）《対象》保育士資格を有する方若干名《勤務場所》子育て支援センター《雇用期間》4月～9月（更新あり）《勤務日・時間・給与》①週5日（土・日曜含む）8時30分～17時15分。月額16万9300円。②週3日（土・日曜含む）9時30分～16時30分。時給1010円（土・日曜は1364円）。☎市販の履歴書に写真を貼り、2月12日までに直接、子育て支援センター☎225-2922へ。2月17日に面接を予定。

発掘調査に伴う現地説明会
三田小学校東側で実施している発掘調査で、縄文時代の竪穴住居跡などが複数確認されたため現地説明会を開きます。
《日時》2月13日①10時～②13時30分～（雨天の場合は14日に順延）《場所》三田小学校東側（三田469）。駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。☎当日直接会場へ。☎文化財保護課☎225-2509。

中国揚州鑑真国際ハーフマラソン大会訪中団参加者募集
鑑真マラソン大会への参加・応援者を募集します。揚州市内の瘦

あつぎ 元気Wave 2月の広報番組ガイド
ケーブルテレビ あゆチャンネル(11ch) 放送時間(15分) 2月1日～15日 ◆資源は捨てずにリサイクル プラスチックやせん定枝など、リサイクルの流れを紹介 ①12時～②19時30分～③22時45分～ ※内容や時間を変更する場合があります。
番組はホームページ動画配信 あつぎ元気Wave 検索 CATV放送開始後に配信

西湖や大明寺なども見学します。
《期間》4月22日～25日《対象》18歳以上の方10人《訪問先》揚州市、上海市《費用》14万5000円程度。☎2月19日までに電話で友好都市調査団・徳間☎222-7733へ。先着順。

第37回市民スキー選手権大会参加者募集
3月26日。鹿沢スノーエリアスキー場（群馬県）。市内在住に勤在学の小学生以上の方と市スキー協会登録者。大回転（個人、クラブ対抗）。2500円。☎参加費を口座（ゆうちょ銀行10260-16009541厚木市スキー協会）に振り込み、申込書（市スキー協会ホームページからダウンロード可）に振込用紙の控えを添えて、3月9日までにファクスまたはEメールで市スキー協会☎045-904-8390・e-mail=compe@ml.ski-atsugi.comへ。☎同協会・三浦☎090-3450-7996。

本厚木駅連絡所の臨時休業
2月16日は、電気設備点検のため、証明書の発行業務、連絡所業務と連絡所内の観光案内所を休業します。お急ぎの方は、市役所市民課や地区市民センター、愛甲石田駅連絡所などをご利用ください。☎市民課☎225-2110。

2月は神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進月間
創業・技術・経営・人材育成に関する講習会などを実施します。☎県中小企業支援課☎045-210-5558。

アイドリングストップにご協力を
冬は、自動車交通量の増加などにより、排出される窒素酸化物の濃度が高い季節です。排出量削減に向けて、アイドリングストップにご協力

ください。☎生活環境課☎225-2752。
不登校相談会
2月6日、13時～16時30分。県藤沢合同庁舎（藤沢市）。不登校で悩む児童・生徒や保護者対象の相談会。無料。☎当日直接会場へ。☎県子ども教育支援課☎045-210-8292。

国民年金保険料は口座振替に
国民年金保険料の納付は、納め忘れない口座振替が便利です。現金納付より割引額が大きい「早割制度」「6カ月・1年・2年前納」もあります。☎納付書または年金手帳、通帳、金融機関届出印を持ち、直接金融機関または厚木年金事務所へ。4月分以降の前納は、2月末日までにお申し込みください。☎厚木年金事務所☎223-7171。



《パブリックコメント》
■耐震改修促進計画一部改定
《閲覧期間》2月1日～3月2日《閲覧場所》建築指導課窓口、市政情報コーナー、あつぎ市民交流プラザ、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、総合福祉センター、中央図書館、市ホームページ《応募資格》市内在住に勤在学の方または市内で活動する個人・法人・団体《応募方法》閲覧場所にある用紙を備え付けの「わたしの提案」箱に投函するか、直接または郵送、ファクス、Eメールで〒243-8511建築指導課☎225-2431・FAX223-0166・email=5700@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

あつぎ健康相談ダイヤル24
さわやか1番 よいところ
☎0120-31-4156

飯山の春を盛り上げよう
第52回あつぎ飯山桜まつり
ダンスコンテスト
満開の桜の下で、自慢のダンスを披露しませんか。
《日時》3月27日①ジュニア（中学生以下）の部・11時～②一般の部・14時30分～《会場》飯山白山森林公園（飯山5600）《対象》各部2～30人程度のグループ20組（小学生以下の参加には引率者が必要）《内容》ヒップホップ、チアダンス、フラダンス、よさこいなど。各部門上位チームには景品を進呈《演技時間》1組5分以内《参加費》1000円
☎電話またはハガキ、ファクス、Eメールに部門、チーム名、人数、代表者（引率者）の氏名・年齢・〒住所・電話番号・Eメールアドレス、ダンスの内容を書き、2月19日（必着）までに〒243-8511観光振興課☎225-2820・FAX223-0174・e-mail=3850@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。☎152669
☎観光振興課☎225-2820



元気いっぱいのダンスが会場を沸かせる

参加者募集

自分だけの農園を持ってみませんか
市民農園利用者募集
《場所・面積》①荻野（上荻野）20㎡20区画、30㎡2区画②中荻野（中荻野）30㎡1区画、60㎡1区画③小鮎（飯山）20㎡2区画④三田（三田）20㎡3区画、30㎡3区画⑤飯山（飯山）20㎡1区画《利用期間》4月1日～平成30年2月28日《対象》市内在住に勤在学の方（1世帯1区画まで）《管理料》1カ月当たり20㎡400円、30㎡550円、60㎡1100円
☎農業政策課にある申込書またはハガキに〒住所、氏名、電話番号、希望農園名・面積を書き、2月29日（必着）までに〒243-8511農業政策課へ。抽選。
☎農業政策課☎225-2800



愛情込めて育てた野菜を収穫



2月は
省エネルギー
月間

取り組もう冬の省エネ

家庭で

暖房や照明で電気・ガスなどのエネルギーを消費すると、地球温暖化の原因となる二酸化炭素が発生します。省エネルギー（以下、省エネ）への取り組みは光熱費を減らすだけでなく、地球温暖化の防止にもつながります。この冬、みんなで省エネに取り組みましょう。

会社で

暖房の消費電力を減らすには、熱を逃さないことや体を温める工夫が必要です。簡単にできる省エネの例を紹介します。



カーテンを閉めて部屋を保温

今日から始められる冬の省エネ術

- ①カーテンや雨戸を閉める
- ②重ね着などで体を温かく保つ
- ③湯たんぽや膝掛けなどを使う
- ④家族が同じ部屋で過ごす
- ⑤じゅうたんやホットカーペットの下に断熱マットを敷く
- ⑥暖房の温度は低めに設定する
- ⑦風呂は続けて入る



膝掛けや断熱マットが効果的

照明のLED化など省エネ設備の導入が効果的です。市の「無料省エネ診断事業」や国の「エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」などを活用すれば、省エネに加え経営改善にもつながります。

■中小企業の「省エネ診断」

事業所のエネルギー使用状況や設備を調査して、改善すべき点を助言するほか、補助金などの活用できる制度も紹介します。

《対象》①市内に本社または支店がある②事業所の年間エネルギー使用量がおおむね50万円以上③税金の滞納がない④の全てを満たす企業



ボイラー室で省エネ効果を確認

■エネルギー使用合理化等事業者支援補助金

事業所などで設備やシステムの改善・改修を省エネルギー化する際の必要経費を補助します。

《対象》事業活動を営んでいる法人・個人事業主



LED化したリコー厚木事業所の体育館の照明

環境市民学習講座

みんなで考えよう! 地球温暖化

無料

地球温暖化の仕組みや、家庭でできる対策などを分かりやすく説明します。

日時 2月28日 14時～16時

場所 あつぎ市民交流プラザ

対象 市内在住在勤在学の方30人

申込電話またはファクスに講座名、〒住所、氏名、電話番号を書き2月15日までに環境政策課☎225-2749・FAX223-1668へ。抽選。



昨年の講座の様子

参加者全員に
プレゼントあり

限りある資源を大切にしよう

市民ふれあいマーケット

出店者募集

家庭で不用になった品物を持ち寄るマーケットを開催します。

日時 3月13日 9時～13時30分
(雨天中止)

場所 厚木中央公園

対象 市内在住の方130店舗
(高校生以下は不可)

出店料 500円

申込往復ハガキに〒住所、参加者全員の氏名、日中に連絡がつく電話番号、販売品目、自動車の有無(車種とナンバー)、返信先を書き、2月15日(消印有効)までに〒243-8511環境政策課☎225-2749へ。抽選。



多くの来場者でにぎわう会場

☎環境政策課☎225-2749

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)相鉄エージェンシー☎045-450-1804へ。